

2011年9月25日

学校法人 幸福の科学学園 御中
清水建設株式会社 御中

仰木の里まちづくり連合協議会
仰木の里東二丁目自治会
コモンステージ仰木の里東自治会
仰木の里東一丁目自治会
湖都が丘自治会
北雄琴自治会

幸福の科学学園関西中学校・高等学校新築工事の 工事説明会開催に関して

拝啓、時下ますますご清祥のことと存じます。

さて、平成23年9月18日付で、学校法人幸福の科学学園および清水建設株式会社連名による「幸福の科学学園関西中学校・高等学校新築工事の工事説明会開催のご案内」文書が、一部自治会に対し仰木の里支所メールボックスを通じ投函されていました。

同文書には各自治会の参加を促進するための日程調整をしない理由が記載されていますが、住民に対し説明会を開催して理解を得ようとするならば、より丁寧に日程調整を行うべきであり、この間の貴学園および貴社の住民に対する不誠実さの本質と全く変わらず、言い訳を述べているに過ぎません。この点について改めて貴法人及び貴社の不誠実さを指摘しておきます。

7月30日に開催されたいわゆる「中高層説明会」では、貴学校法人および貴社は、住民に対しボーリング調査など具体的データを記載した資料に基づく丁寧な説明を行わず、住民の疑問や質問に対しても明確な回答もせず、住民は不安解消どころか一層不安をつのらせる状況となりました。加えて、説明会途中で宗教法人幸福の科学の常務理事□なる人物が突然住民席より発言を始め説明会を混乱に陥れ、さらには貴社関連業者を名乗る多数の人物が住民席に潜入し、またやらせ発言をさせるなど、尋常ではあり得ない所行の数々に、住民は恐怖すら覚える事態になり

ました。

こうした異常な状況の中高層説明会でしたが、最終的には双方が課題の確認を行い、次回以降の説明会で、貴法人及び貴社から具体的に回答することが確認されました。しかしながら当日確認された課題の多くは貴法人および貴社から未だ説明も受けておらず放置されたままです。

今回、工事着工のあたっての「説明会」開催の案内がありました。手順からすると中高層説明会で積み残された課題についてまずは具体的に回答するお約束を履行して頂くことが先決です。

念のため申し添えますが、積み残し課題に加え、中高層説明会の際の宗教法人幸福の科学常務理事の所行や関連業者のやらせ発言等に関しても、清水建設社長へのお手紙のお返事でお約束されましたように、きちんとした説明等をいただく必要がありますことご承知おきください。

つきましては、今回案内の工事説明会開催日時＜10月2日（日）＞においては、まずは、前回の中高層説明会時において双方が確認した課題と一連の混乱を招いた件について十分な説明をされ、然るべき納得が得られた後、工事の説明をして頂くという段取りに移らせていただきます。

なお、今回5自治会に対して工事説明会の連絡を受けましたが、既にご通知やご説明を行っているとおりに、幸福の科学学園学校建設にあたっては「仰木の里まちづくり連合協議会」が窓口になっていますので、今回の説明会も仰木の里まちづくり連合協議会として対応させていただきます。

また、案内文では各自治会がグループに分けられて説明を受ける時間配分となっていますが、日曜日の朝9時では参加しにくいこともあり、開始時間は10時からとし、全自治会合同で伺うことといたしますのでご了解頂きますよう、ご確認ください。

敬具